

中田かわら版 5月号

～中田地区の地域活動をお知らせします～

発行：中田地区経営委員会

協力：中田連合自治会 泉区役所

制作：中田かわら版制作編集委員会

横浜市踊場地域ケアプラザ

■この人に会いたい<58>

人が喜ぶことを続けたい

栗原 元幸さん (77歳) 葛野



昨年の炎夏突入の頃、編集委員 M は大きな男が重そうな草刈り機をトラックに引き上げている場に行き合った。ここは深谷通信隊跡地、高砂苑バス停脇から直ぐの野球グラウンド。M はたつぷりと突き出た腹を気にしながらイヤイヤウオーキングの途中だった。まだ午前中とは云え、刈られたばかりの雑草はムンムンと青い息を吐き出しながら最後の存在を主張していた。

栗原元幸さんとは久々の再会でした。「大変な仕事してますねー」…から始まった会話を簡略に説明すれば「ボランティア活動であり、草刈り機のガソリン代実費程度で頼まれてやっている」ことだった。M は瞬息思う。「2万円呉れてもヤダ。そもそも出来っこないし」

以前ここには物置小屋があり、心無い人に燃やされてしまった。その際に草刈り機 2 台も失ったそう。なので今、知人からトラックともども借りて草刈り機を押しながら日に 2 万歩を超えると云う。(M はイヤイヤウオーキング 6 千歩なので下を向く)

逞しい大男「栗原元幸さん」は長崎県国見の出身。金属加工の仕事しながら横浜の港高校に通い、簿記を勉強した。のち東京で経理の仕事に就くも覚えた金属加工の会社へ再び就職する。ここで難関国家試験である「鉄鋼熱処理作業 1 級」の合格通知を受ける。役職への誘いも断り現場にこだわった。37 歳の頃から体育指導員を委嘱され、22 年間ものキャリアを持つ。その間にラジオ体操や防災管理者、ゲートボールなどの講習会を受け、審判や指導員として活躍する。平成 15 年から民生委員を 13 年間、5 年に一度の国勢調査員も 7 回、葛野町内会会長も経験する。今、泉区ゲートボール連合競技



表彰状を見る栗原さん

部長をうけている。山神社（ヤマガミジャ）の植木の手入れ、清掃も。3月17日と11月17日の社の祭りを特別大事に想う。酒は飲まないと言う栗原さんに「なぜこれほどにボランティア活動をするのか」と尋ねたら、『頼まれるということは自分が信頼されているという事。体が空いていればやるべきだ』と諸先輩（横田さん、小山昇さん）に諭されたから…と答えた。これからも人が喜ぶことを続けたいとも言った。

今年 1 月 25 日、「高齢者の知っておきたい講習会」が社協、民児協、たすけあい泉共催で開かれた。演壇の中心に 3 人の男性が居並び、それぞれの奥様の認知症について発表。個人情報保護がうんぬんされる中で思い切った講習会。栗原さん、徳良さん（夏刈場）、川邊さん（宮の台）が具体的な生活実態を分かり易く教えてくれた。厳しい現実には押しつぶされることなく妻を、家庭を淡々と守り続ける姿に感動と深い愛情を感じた。栗原さんたちの背中が眩しい。



(編集委員 松本 正)

～一人ひとりが CO₂ を減らす努力をし、美しい地球を子どもたちに残そう！～



このチラシの情報をより詳しく知りたい方は、踊場地域ケアプラザ 葛西（かさい）まで問い合わせください。

TEL 801-2114 FAX 801-2923

■街の喫茶店「コーヒー・スケアクロウ」がオープン

コーヒー、紅茶の味の違いが楽しめる



昨年7月、喫茶店「Coffee SCARECROW」（コーヒー・^{かさ}山子）が双葉自治会の一角にオープンした。中田には人口の割にはこうした喫茶店が少ないだけに、地域の人が気楽に立ち寄って歓談できる店は貴重である。正面のカウンターにはサイフォンがずらり並び、コーヒーの香りがただよう。大きなテーブルと二人用のテーブルも3つあって手ごろな広さだ。3

種類のコーヒー、紅茶が注文できるのも嬉しい。ちょっとした高級感も味わえる。

マスターの高柳秀行さんは、ことし還暦。鎌倉女学院、藤沢の藤嶺学園藤沢中学・高等学校で国語を教える先生だった。55歳で早期退職、教職を辞めたら将来は「喫茶店を開いて地域のために貢献したい」が夢（希望）だった。地域でも積極的に行事に参加するなど人望も厚い。大学生の時、3年ばかり喫茶店でアルバイトをした体験からノウハウを学んだ。店を出すにあたり全て独学で技術を習得したという努力家だ。学校時代の先生や教え子たちが懐かしんで、よく訪ねてくれる。



■ ■
現在は奥さんと2人でやっており、マスターのコーヒーに奥さんの手作りのスイーツも絶品。軽食メニューにはホットサンド（ハンバーグ、ハムカツなど6種類）。焼うどん（ナポリ風、和風など）もあり、順番に試してみるのもお薦め！営業時間は金、土、日、月曜日の10時～17時。火、水、木の3日間が休みになる。平日の連続3日の休みの理由を聞いてみたら、2日間は材料の仕入れやその準備。あとの1日は休養日とか、それで納得。近くには「セントラルスポーツ」や「クリエイト」がある。傍まで来たら、ぜひ立ち寄ってみてはいかが。可愛い案山子（SCARECR

OW)のマスコットボーイが迎えてくれるはずだ。なおスケアクロウは高柳さんが若いころボランティア活動で使っていた時の思い出深いマークを店のシンボルにしている、という話だった。（宮田貞夫）

編集後記

「これからも人の喜ぶことを続けていきたい」という栗原さん。福祉、防災、スポーツ、国勢調査員も7回（35年間）も。多彩なボランティア活動に情熱をかける栗原さんに改めて偉大さを知る。▼新型コロナウイルスでみんながストレスを抱えている。こういうときにこそ中田の優しさ、元気な底力を発揮する機会にしたい。（葛西健一）

「中田白百合地域情報サイト」にて地域の最新の情報や、かわら版バックナンバーなどを調べることができます。www.odoriba-cp.jpへアクセス！！